

平成29年度 第2回群馬県糖尿病対策推進協議会議事概要

- 日時：平成29年10月13日（金）19時～20時30分
- 場所：県庁舎29階 第1特別会議室
- 出席者：群馬県糖尿病対策推進協議会委員 12名、委員代理 1名
事務局 保健予防課、医務課、国保援護課 計8名

1. 開会
2. 挨拶 群馬県健康福祉部保健予防課長
3. 議事

(1) 群馬県保健医療計画について

事務局から、以下のとおり説明。

- ・前回協議会に続き、次期県保健医療計画について協議。
- ・今回は、前回のご意見を踏まえ修正した計画本冊（第2稿）及び求められる医療機能や医療機関の掲載基準等を記載した別冊を提示。
- ・今後、11月の県保健医療対策協議会、12月～1月のパブリックコメントや関係団体等への意見照会、2月の県医療審議会、3月の県議会を経て策定。

<主な意見・質疑 等>

委員のご意見を踏まえ、資料を事務局で修正し、山田会長確認の上で県保健医療対策協議会に提出することに決定。

- (小山委員) 禁煙すると糖尿病にならないということではなく、糖尿病患者が喫煙していると悪化してしまうので、糖尿病患者の禁煙が重要ということ。
- (山田会長) 確かに、適切な食生活や運動療法と同じ並びで禁煙を挙げるのは違和感がある。慢性合併症を防ぐために、禁煙を勧めてもらいたいということ。
- (小山委員) 求められる医療機能の中に、糖尿病患者の方で喫煙者がいたら禁煙指導ができるのか、禁煙外来を紹介できるなどを盛り込んでもいいのではないか。
- (川島副会長) 「生涯を通じた健康管理」に禁煙を盛り込めばよい。
- (永井委員) 掲載基準2「専門治療」及び掲載基準3「重症急性増悪時治療」で、富岡総合病院が基準に該当しているはずだが、載っていない。
- (山田会長) 事務局で確認してほしい。
- (山田会長) 歯科医師会、薬剤師会から何かございますか。
- (佐野委員) 特にない。
- (田尻委員代理) 特にない。

(2) 市町村国民健康保険の糖尿病等重症化予防の取組について

事務局から、以下のとおり説明。

- ・平成30年度の国保制度改革で保険者努力支援制度が創設されることから、平成28年度から国の国保特別調整交付金により前倒しで実施。

- ・糖尿病等の重症化予防、特定健診受診率向上などの実施状況が評価項目として設定されている。
- ・今年度については、県内28市町村で事業を実施。

<質疑・意見 等>

(山田会長) 今年度取り組む市町村は、前回の協議会時点では4市町で、現在は28市町村ということだが、なぜ県の指導のもと、すべての市町村で実施されないのか。

(事務局) 昨年度始まったばかりの段階では、県においても具体的にどういったものが基準として認められるか把握できていなかった。今年度、県から市町村に制度について周知したところ、28市町村で取組が始まったということ。

(川島副会長) この取組について、市町村と地域の医師会との連携が取れていないのが問題。本来であれば地域包括ケアができているのだから、連携はできるはず。それでもできてないということは、市町村に課の壁などがあって、医師会との連携をやる人がいないのだと思う。医師会は話が来れば必ず動くはずなので、きちんと話を通してほしい。

具体的な基準についても、たとえば、HbA1c5.6%という基準はおかしい。市町村では分からないと思うので、県が示してあげる必要がある。

(山田会長) 隣の市町村がどのような基準でやっているかなど、市町村では分からない部分も多いと思うので、統一的な基準を県で示してあげるとか、指導した方が良い。

(事務局) 市町村ごとに基準がまちまちであるなど、現状を解決するための県としてのプログラムをしっかりと作る必要があるということは、国保援護課と保健予防課において認識しているところ。ただ、今回国保の支援金というインセンティブがあって、市町村でまずできるところから取り組んでみようということで計画があがってきているので、この取組に実効性があるかどうかは県として検証していく必要があると思っている。

(川島副会長) 後期高齢者についての重症化予防プログラムはできているのか。

(事務局) できていない。

(川島副会長) 後期高齢者の所管は県なのだから、そこでまず基準を作ってみてはどうか。それを参考に市町村が動いてくれれば良いのではないか。

(山田会長) 市町村の国保の連絡会議のようなものはないのか。あるとすれば、医師はメンバーに入っているか。

(事務局) あるが、医師は入っていない。今後、県が保険者として、市町村の国保事業をどう評価していくかということになる。市町村も、これからは評価されることを前提に、事業を行うだけではなく、アウトカムを出さなければいけない。このあたりを市町村によく理解してもらった上で、県も支援していきたい。

(山田会長) この課題について、ワーキンググループがあっても良いのでは。

(事務局) ご提案があれば、来年度以降の設置に向けて前向きに検討したい。

(川島副会長) 糖尿病対策推進会議にふってもらえれば、やりたいと思う。

(事務局) そのあたりも含めて検討させていただきたい。

(山田会長) 群馬県はせっかく糖尿病対策について一丸となって取り組んでいるので、協力できるところは協力していければと思う。

(唐澤委員) 一点、市町村の立場から。特定健診の結果、要受診となる数値は以前から各

市町村で決まっている。それに従い、受診勧奨などの取組も行っている。ただ、その基準について医師会等に対して説明するとか、そこが抜けているのだと思う。今回の取組をきっかけに、医師会との連携が進めばと思う。

(川島副会長) たとえば、CKDと言われて医療機関に行ったら、ただ返されてしまったという話はよく聞く。これは、市町村と医師会との連携が取れていないからだと思う。受診勧奨により医療機関へ来た患者に対し、どのように対応するか医師会で事前に話し合っておく必要がある。そのためには市町村と医師会との連携をより強めなければならない。

(3) 糖尿病予防対策推進事業報告書について

事務局から、以下のとおり説明。

- ・糖尿病予防対策推進事業報告書(案)が完成したので、提示させていただく。
- ・平成26年度に市町村国保において特定健康診査を受診した約15万人のデータを集計・分析したもの。
- ・今回の協議会で了承が得られれば、今後公表に向け準備したい。

<質疑・意見 等>

公表することについて、了承。

(山田会長) 全国に比べて、本県の女性は、BMIの値が高い傾向である。また、平均寿命が全国に比べ短く、健康寿命が長い。

(山田会長) 血圧、肥満など全国にくらべて軒並み悪い値だが、原因は何なのか。

(事務局) 今回単年度の結果だけなので明らかではないが、今後年度を追って分析し、原因を検討していきたい。

(山田会長) 肥満が多い原因などは出てくるか。

(事務局) 地域別に見て、運動習慣の低さと、BMIの高さなどは関係性があるようだ。

(山田会長) 平均寿命が短いというのはよく考えていかないといけない。

(廣村委員) 公表後に講演会で使用する際には許諾は必要か。

(事務局) 出典を明らかにした上であればご活用いただきたい。

(4) その他

○佐野委員から、「糖尿病に関する研修会(平成29年度8020県民運動推進特別事業)」開催についての案内

○事務局から以下のとおり説明

- ・本日の議題について御意見のある委員は、意見照会様式により、FAXにて送信していただきたい。
- ・糖尿病重症化予防に係る国のワーキンググループの報告書を配布